

Hiratsuka
City



第2回

みんなの
まちづくり
事例集

2021.02

目次

P1 平塚市みんなのまちづくり事例表彰とは

年間大賞

P2 故障したおもちゃの修理

平塚市おもちゃの病院ドクターくるりん



P3 学習支援「ピノキオ」

岡崎地区町内福祉村「おかざき鈴の里」



P4 相模川クリーンキャンペーン

平塚信用金庫(花水・須賀・南口支店)



P5 町内会から住民への情報伝達

～紙媒体(回覧)と動画とのリンク～

明石町会



P6 性暴力サバイバーの居場所、

社会復帰の為の自立支援活動

一般社団法人 OHANA



P7 宮松町自治会とペガサス就職塾が

コラボした回覧板業務

NPO 法人しえんのまなび舎

宮松町自治会



P8 介護予防と移送支援を含む生活支援

須賀新田シニアクラブ



P9 地域協働コミュニティスペース

『ウエルカフェ』

ウエルシア平塚四之宮店



P10 竹を使って土沢地域を盛り上げよう

平塚市立土沢中学校

上惣領竹あかり



P11 追分横断地下道清掃活動

平塚信用金庫(追分支店・事務部)



P12 保護猫の里親探し

NPO 法人平塚のら猫を減らす会



応募事例

P13	金田小学校 2 年生の社会見学	株式会社タシロ
P13	下郷七夕まつり	下郷自治会
P14	子ども達に除菌ウエットティッシュ寄贈	株式会社甲斐組
P14	ウイズコロナの時代に対応する自治会活動	宮松町自治会
P15	ナバサクラブ	ナバサクラブ
P15	探究学習	平塚市立土沢中学校
P16	地域の希望される高齢者の方々にデイサービスの提供	ひまわりサロン
P16	リトミックによる子どもの発達支援 音楽療法による障がい児・者、高齢者の自立支援	あいあいリトミック
P17	自治会活動をもっと知って、楽しく自治会活動に協力を！	撫子原自治会
P17	海岸清掃	株式会社伊達建設
P18	千石河岸海岸清掃活動	平塚信用金庫
P18	田村桜まつり 写真プリントサービス	キヤノン株式会社 平塚事業所
P19	信用金庫の日「愛の献血運動」	平塚信用金庫
P19	防災減災啓発活動	女性防災クラブ平塚パワーズ
P20	(コロナに負けない)こども自由研究講座・オープントイレ ・休憩場所の提供	株式会社アクロス MEルーム
P20	湘南スターモール商店街クリーン活動	ピタットハウス平塚店 株式会社L-CLASS
P21	コロナに負けないまちづくりの応援	株式会社アクロス MEルーム
P21	人物に焦点をあてた平塚近現代史の掘り起こし	平塚人物史研究会
P22	フードバンク活動・フードドライブ活動・フードパントリー	特定非営利活動法人 フードバンクひらつか
P22	新型コロナに負けない自治会活動	花水台自治会
P23	平塚市を国内外に発信、地域活性プロジェクト	湘南日台未来交流協会
P23	不登校・ひきこもり改善・自立支援プログラムの提供	特定非営利活動法人ぜんしん
P24	&EARTH 災害に負けない知識を学ぼう	三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚
P24	おうちで七夕フェス2020	平塚 100 人カイギ

平塚市みんなのまちづくり事例表彰とは

地域の課題（まちの困り事）を解決する活動を表彰する制度が始まりました。

平塚市みんなの まちづくり事例表彰とは

近年、市民のニーズが多様化・複雑化する中で、多くの市民活動団体や地域団体、事業者、教育機関などが地域課題解決の担い手として活躍しています。

本市では、平塚市協働のまちづくり基金を活用し、様々な主体による地域課題（まちの困りごと）解決を目的とした活動を表彰することとしました。

表彰を通じて様々な活動を広く皆さんに知っていただくとともに、より多くの団体の活動意欲を高めることをねらいとしています。

平塚市協働のまちづくり基金とは



平塚市協働の まちづくり基金とは



市民活動団体や地域団体、事業者、教育機関等の、本市のまちづくりの担い手を育成するとともに、相互の交流及び連携を図り、多様な主体による協働のまちづくりを推進するために必要な長期的・安定的財源を確保するため、平成30年9月に創設しました。

個人・団体・事業者からの寄付金は、平塚市が平塚市協働のまちづくり基金として積立て、管理・運用します。

年間大賞

故障したおもちゃの修理

平塚市おもちゃの病院ドクターくるりん

アピール
ポイント

○ホームページで発信しており、市内のみならず茅ヶ崎市、寒川町、大磯町等からも患者が来院しております。

○年間約500個のおもちゃの修理依頼があり、概ね90%は完治させる高い技術力を有しております。令和元年度修理実績633個。

活動目的

壊れたおもちゃを修理再生し、子供たちが又楽しく遊べるように環境リユースへの貢献をします。
また、壊れたおもちゃを買い替えるのではなく修理することで生き返る事実を子供たちに見せることで、命の大切さ、物の大切さ、科学技術の素晴らしさを学んでもらい青少年の健全育成にも貢献します。

活動頻度

- ・月7回～8回定期開院
- ・イベントにも出張開院(不定期)

活動内容

福祉会館、西部福祉会館、豊田子育て支援センター、リサイクルプラザ、金田公民館、リフレッシュプラザ、ウエルシア薬局四之宮店等で、毎月開院するおもちゃの病院や各種イベントに出張し、年間約70日活動しています。
60代、70代の会員が、定年後今まで培った機械や電気の知識技術を生かしおもちゃを修理することで高齢者の仲間づくり、生き甲斐づくり、世代間交流に意義を感じています。

活動場所

市内各地区公共施設及び民間施設

推薦
ポイント

おもちゃを通して、子ども世代、親世代との多世代交流がうまれています。
高齢者の仲間づくり、生き甲斐づくりにもなっています。

年間大賞

学習支援「ピノキオ」

平塚市岡崎地区町内福祉村「おかざき鈴の里」



**アピール
ポイント**

- 学校行事の「岡小まつり」への参加、先生方と講師との情報交換会を行い、学校との連携を図ると共に、「おかざき鈴の里」子供関係行事への参加も頂いています。
- 講師は元教職や民間企業OBの方々、及びピノキオ卒業生が対応しています。
- 理科離れを危惧し、理解を深めるため年一度「理科実験」を実施しています。

活動目的

- ・「ピノキオ」は、心の優しい、勇気のある子どもを育てたいとの思いから命名。次世代を担う子供の学習支援を目的に2007年に立ち上げました。
- ・岡崎小学校児童の学習意欲と学業成績の向上
- ・基本的な生活習慣(挨拶の励行や履物を揃える等)を身に付ける。
- ・同時に高齢者(講師等)のやり甲斐にも繋がり、地域社会資源の掘り起こしにもなっています。

活動頻度

毎週土曜日 高学年 9:00～10:00
(4回/月) 低学年 10:30～11:15

活動内容

- ・児童が月曜日から金曜日に学校で勉強した授業内容に合わせ、ドリル等を使用し復習を軸に、国語と算数の学力向上を図っている。(教材費は300円/月)
- ・現在、児童45名、講師14名、卒業生59名
- ・開設して14年になります。
- ・現在、岡崎小学校児童の1割が受講しており、多い時には2割近い児童が通って来ていました。

活動場所

岡崎地区町内福祉村「おかざき鈴の里」ホール

**推薦
ポイント**

卒業生が講師となるなど、活動による好影響が循環していて、素晴らしいです。地域の人が講師となることで、地域交流の場にもなっています。

年間大賞

相模川クリーンキャンペーン

平塚信用金庫(花水・須賀・南口支店)

アピール
ポイント

- 落ち葉等も多く継続した清掃が必要。平塚八景の一つである場所の魅力維持の一助になっています。
- 準備期間から地域ぐるみで準備していますので、連帯感を持って活動することができます。

活動目的

平塚八景の一つである「湘南潮来」を一望できる朝霧河畔緑地は、市民の憩いの場であり地域観光資源でもあります。平塚市まちぐるみ大清掃の日に平塚信用金庫、須賀公民館、港地区自治会連絡協議会の皆様と協力して清掃活動を行うことで、地域資源保全と共に地域の連携を強めることを目的としています。

活動頻度

毎年5月、11月

活動内容

- ・河川敷のゴミ拾いを行いきれいな緑地を維持します。
- ・年に2回(5月、11月)まちぐるみ大清掃の日に合わせて実施しています。5月は当金庫主催、11月は須賀公民館の主催で実施しています。
- ・平塚信用金庫、須賀公民館の他に港地区自治会連絡協議会など地域の方にも参加いただいています。

活動場所

朝霧河畔緑地周辺

推薦
ポイント

企業と地域の連携協力が地域観光資源の保全に繋がっています。今後の「広がり」に期待できる活動です。

年間大賞

町内会から住民への情報伝達 ～紙媒体(回覧)と動画とのリンク～

明石町会



アピール ポイント

コロナの影響で自由に外出できない時期に、町内発行の A4 の回覧「明石だより」に動画等の QR コードを貼り付け、スマホ等で楽しめる様にしました。また、ちいき情報局崇善地区と明石町の HP の QR コードも貼り付けているので、地区や町内の情報を見たい時に見る事が出来るようになりました。

活動目的

新型コロナで落ち込んだ町を動画で元気にする事と、町内会からの情報発信を今後は、紙と web の併用型にする。

活動頻度

- ・昨年は町内催し時に上映。
- ・今年は web 上でいつでも見る事が可能に。

活動内容

昨年は、動画発信の第一段階として、町内や周辺の催し等を長期に渡り撮影し40分にまとめた映像を公民館等のプロジェクターを用い町内懇談会等で公開しました。住民からは「今まで知らなかった町の姿」を再発見できたなど一定の効果を受け、コロナ禍の今年は、次のステップとして、今まで撮りだめていた様々な映像素材を YouTube にアップし、自宅などでご覧頂けるように、住民へ動画情報の発信を始めています。

活動場所

- ・昨年は公民館や町内会館等の限られた場所で。
- ・今年は HP や YouTube なので場所を選ばず。

推薦 ポイント

WEB を活用した新しい事例であり、他の地域への参考になります。コロナ禍でも工夫して、地域のつながりを持っています。

年間大賞

性暴力サバイバーの居場所、 社会復帰の為の自立支援活動

一般社団法人 OHANA



アピール ポイント

- 支援員が専門職(心理カウンセラー、精神保健福祉士等)です。
- 当事者が社会復帰の準備の場として、心身のケア、就労相談、販売できるハンドメイド作品の技術習得、ネットショップの構築の仕方を習得できる「居場所」の提供をしています。

活動目的

- ・性暴力、性暴力に伴う二次被害の防止。
- ・性暴力被害当事者の居場所作り。
- ・社会復帰に向けた性暴力被害当事者の心身のケア、自立支援。
- ・社会的孤立の防止。

活動頻度

無料相談: 毎週 2 回 水(午前のみ)、木曜日
イベント: 不定期

活動内容

電話や面談(オンラインも含む)、情報提供に加え、心理カウンセラーや精神保健福祉士等の専門家による「トラウマ回復プログラム」の実施と並行して、社会復帰の為の就労相談、就労体験、また、販売できるハンドメイドの小物雑貨づくり、ネットショップ構築スキル、IT スキルの習得を実施し、一人でも多くの当事者が社会復帰できる「居場所、アトリエ」を主催、提供しています。

活動場所

平塚市、周辺地域

推薦 ポイント

相談だけでなく、社会復帰のための自立支援まで対応している点が素晴らしいです。コロナ禍において、オンライン等のネット対応への切り替えは他の参考になります。

年間大賞

宮松町自治会とペガサス就職塾がコラボした 回覧板業務

NPO 法人しえんのまなび舎
宮松町自治会



アピール ポイント

○これからの自治会活動において、他団体が業務を分担して行うことは、新しい展望となる。

○経験が少ない子どもたちが、仕事として、このような業務を任せて貰えることは、本当に素晴らしいこと。

活動目的

「自治会の回覧板などをセッティングして、ポスティングする業務を委託したい。」と考える宮松町自治会と「発達特性のある子どもたちに就労体験をさせたい」と思っていたペガサス就職塾をNPO法人しえんのまなび舎がつなぎ、コラボ企画を立ち上げた。また、ボランティア活動に参加したいと思っている方にもお声かけをして、子どもたちの支援をお願いすることになった。

活動頻度

毎月1回、第2土曜日

※その日が雨の場合は後日の設定もあり。

活動内容

- ①自治会が回覧板に入れる書類を整理、印刷する。
- ②ペガサス就職塾の子どもたちが、回覧板の資料を班ごとにセットして、各班長さん宅にポスティングする。
- ③NPO法人しえんのまなび舎のスタッフが回覧板のセット、ホチキス止め、袋入れ、数の確認とポスティングの場面で、子どもたちを支援する。

活動場所

ペガサス就職塾、宮松町自治会会館、宮松町地区

推薦 ポイント

先駆性のある、連携事業であり、他の自治会、団体のモデル事例となります。連携の仕方も新しく、今後の活動にも期待します。

年間大賞

介護予防と移送支援を含む生活支援

須賀新田シニアクラブ



写真はいずれもコロナ禍以前の 2019 年撮影



アピールポイント

- 行事の案内をポスティングする際には声かけをし、健康・日常生活の困りごと等を確認している。
- 活動はコロナ禍でも休むことなく活動し、活動延人数2020年4月～9月 介護予防250人、移送支援56人、生活支援2件(枝伐採、ゴミ出し)。

活動目的

須賀新田地区は相模川左岸の飛び地であり、買物や通院の利便性が悪く、近年高齢者が増加し、交流の場であるサロンの開催やコミュニティバスの運行などの要望もありました。

その課題を解決するため、会員制の須賀新田シニアクラブ(65才以上 会員数 28名)を発足し、介護予防となる運動やサロンの開催、買物・通院等の移送支援、軽作業を伴う生活支援を実施し、健康で支え合う地域社会を目指しています。

活動頻度

介護予防:月 5 回、移送支援:月約 10 回

活動内容

【介護予防】

ゲートボール、ウォーキング4～5km(各月2回)
サロン(フレイル予防体操、合唱など)(月1回)

【移送支援】(自家用車による移送支援)

買物(週1回)、通院(要望日)、選挙投票、災害時の要支援者避難等

※運転者は安全講習受講 75才以下

【生活支援】

実績:除草、木の枝の伐採、ゴミ出し

活動場所

須賀新田地区

推薦ポイント

地域福祉の先進事例であり、コロナ禍でも休むことなく活動した点が素晴らしいです。移送支援では、要支援者の避難協力も行い、災害対策もできている。

年間大賞

地域協働コミュニティスペース『ウエルカフェ』

ウエルシア平塚四之宮店



アピール ポイント

地域の皆様の生活の支えと心身の健康のよりどころとして、また、地域社会における課題を地域で解決していくため、ウエルカフェは地域の皆様に寄り添ったコミュニティ創造の場となり、多くの方々にご利用頂いております。地域と人をつなぐ架け橋の存在としてウエルカフェは活動してまいります。

活動目的

誰もが安心して健やかに暮らせるより良い地域社会の実現を目指して、地域の皆様との協働による「みんなのまちづくり」活動推進に取り組んでいます。当店は薬剤師、管理栄養士、医薬品登録販売者があり、ドラッグストアとしても地域の皆様の健康と生活が豊かなものとなるように、地域の健康づくりそして地域社会の輪を広げる活動をウエルカフェを通して積極的に行ってまいります。

活動頻度

地域協働のフリースペースとして毎日開放
※利用申込により、予約利用ができます

活動内容

- ・ウエルカフェでは、健康増進・介護予防・介護相談・買い物支援・見守り・子育て支援・地域清掃・防犯防災、そのほか多種多様な活動を行います。そして、地域の皆様の活動の場として、または気軽にお集まり頂いて、一緒に楽しく過ごす時間にもご利用頂けます。
- ・地域住民、団体、行政の方々と連携したイベントや地域活動に積極的に取り組んでいます。
- ・「栄養サロン」「健康福祉マルシェ」その他イベント実施。

活動場所

ウエルシア平塚四之宮店 店内「ウエルカフェ」

推薦 ポイント

地域に密着している公益性の高い活動です。
始まったばかりなので、今後の広がりに期待します。

年間大賞

「竹を使って土沢地域を盛り上げよう」

平塚市立土沢中学校

上惣領竹あかり


**アピール
ポイント**

地域の方に喜んでもらうとともに、地元の未来を担う中学生にとって、地域を改めて知る良い機会になっている。

活動目的

「竹を使って土沢地域を盛り上げよう」土沢地域を活性化することを目的とし、生徒によるアイデアをもとに、地元の「上惣領竹あかり」の皆様へ指導を受け、竹灯笼をつくり、イベントで展示することで土沢地域を盛り上げる。

活動頻度

6月(通常は4月)から11月の中で実施

活動内容

「竹を使って土沢地域を盛り上げよう」をテーマに、例年、地元の「上惣領竹あかり」の皆様へ指導を受け、竹灯笼づくりをおこなっている。今年度はコロナ禍のため実現しなかったが、例年、土屋・吉沢の夏まつりにライトアップして展示し、来場者に楽しんでもらっています。また、七国荘まつりに展示したり、昨年度は土屋ざる菊園とタイアップし、夜のざる菊園を幻想的な世界に演出したりしています。校内でも、活動発表会を行います。

活動場所

主に土沢地域

**推薦
ポイント**

地域とのコラボレーションが、地元の魅力向上に繋がっています。「地域のために何ができるか」を生徒が考え、活動されていることが素晴らしいです。

年間大賞

追分横断地下道清掃活動

平塚信用金庫(追分支店・事務部)



アピール ポイント

- 来年で清掃活動開始30年を迎えます。
- 通行する方への挨拶を大切にしています。
- コロナ対策としてマスク着用、掃除用具の消毒徹底をし、継続して活動しています。

活動目的

店舗周辺の追分横断地下道は、1日を通じて多くの方に利用されている重要な通路です。毎週の清掃活動により、きれいに保つことで地域の皆様が気持ち良く通行できることを目的としています。

活動頻度

毎週水曜日

活動内容

- ・地下道のゴミ拾いや掃き掃除を実施しています。
- ・追分支店の建物に勤務する職員5～6名のローテーションで実施し、所属職員全員が清掃活動に参加できるよう心掛けています。
- ・コロナ禍でもマスク着用、掃除用具の消毒徹底等の感染防止対策をとりながら活動を継続しています。

活動場所

追分横断地下道

推薦 ポイント

長年にわたり、地道な活動を継続していることが素晴らしい。暗いイメージの地下道を清掃により、明るいイメージに変えています。

年間大賞

保護猫の里親探し

NPO 法人平塚のら猫を減らす会

アピール
ポイント

- 団体設立から1,000匹を超える保護猫を譲渡しております。また、その後の飼育の相談にのるなど、適正飼育の啓蒙にも取り組んでいます。
- 市内猫カフェとの協働、市内企業・生体販売をしているペットショップからの譲渡会会場提供など里親と出会う機会を積極的に増やしています。

活動目的

- ・地域住民との地域猫活動において慣れてる猫や仔猫を譲渡会等で譲渡することにより、直接野良猫を減らし、「猫トラブル＝人同士のトラブル」を未然に防ぐ。
- ・野良猫(特に仔猫)を初期医療にかけ譲渡することで、路上で跳ねられたり、亡くなることを防ぎ、亡骸の処理費用の軽減をしています。

活動頻度

毎月第2日曜日譲渡会開催

活動内容

- ・市民からの相談や、保護が必要と判断される猫を会員個々の自宅や相談者の自宅で保護しています。
- ・その後、必要な初期医療や検疫期間の隔離、他治療などの処置をし里親の募集をします。
- ・当法人や県・市町村主催の譲渡会、インターネットの里親募集サイト、ブログや SNS、協力関係の保護猫カフェなど多様な方法で募集しています。

活動場所

平塚市とその周辺

推薦
ポイント

長年にわたり、継続しており、数字としての実績が素晴らしいです。猫カフェ、市内企業、ペットショップと繋がるなど、発展的な面が参考になります。

金田小学校 2 年生の社会見学

株式会社タシロ



活動目的

「地域にある会社の仕事」として社会見学先として、弊社を提供している。

昨今よく耳にする「キャリア教育」の一環としてイキイキ働く大人に出会い、また小学生のうちから、「世の中にはこんな仕事がある」という事例をより多く知ってもらうための機会を提供している。

活動内容

- ・各クラスごとに 30 分に分けて会社に訪問してもらう(30 分×3、先生同伴)
- ・内容は社長が紙芝居を行う→工場内を案内→仕事を紹介→将来の夢を考えて書きだす
- ・2 年生全員にジュースを提供している。
- ・1997 年から 23 年間毎年実施している。

活動頻度

年 1 回

活動場所

株式会社タシロ内

下郷七夕まつり

下郷自治会



活動目的

新住民が増えるなか、七夕竹飾りにより、四之宮の歴史・文化を紹介し、周知を図る。

(徳川家康・前鳥座・だるま・江戸ヶ崎・富士山)
又、作品募集を行い地域活性化に取り組みます。

活動内容

竹飾りの検討・竹申込・織姫市中訪問申込・竹飾り審査申込・竹搬入配布・竹飾り作製・竹飾りの説明・竹飾り設置(各団体が分担共同して実施)

活動頻度

5 月・6 月・7 月・11 月

活動場所

下郷地区

子ども達に除菌ウェットティッシュ寄贈 株式会社甲斐組



活動内容

城島小学校、横内小学校、神田小学校、相模小学校の4校に見童数分のウェットティッシュを寄贈しました。

活動目的

コロナ対策として、地域の子ども達の為に、何かできることはないかと思いウェットティッシュの寄付を決めました。

今回の寄付を知った企業様が各地域の子ども達への対策を広めてくれたら嬉しいなと思っております。

活動頻度

今年1回

活動場所

平塚市大島付近の小学校 4校

ウイズコロナの時代に対応する自治会活動

宮松町自治会



活動目的

1. 新型コロナウイルスにより活動が難しくなった自治会を新たな視点で見直し、ウイズコロナの時代に対応した自治会の在り方を考える。
2. 自治会役員の負担軽減を図るために自治会業務を外部に委託し、なおかつ社会貢献につながる活動をする。

活動内容

1. 毎月1回行っていた自治会定例役員会を中止し、LINE グループとメールにより情報発信を行った事により、よりタイムリーな情報共有が可能となった。
2. Facebook ページ「平塚市宮松町」を作成し、従来の回覧に加えて Web 回覧の機能を持たせた。自治会活動や町内の情報発信も積極的に行いたい。

活動頻度

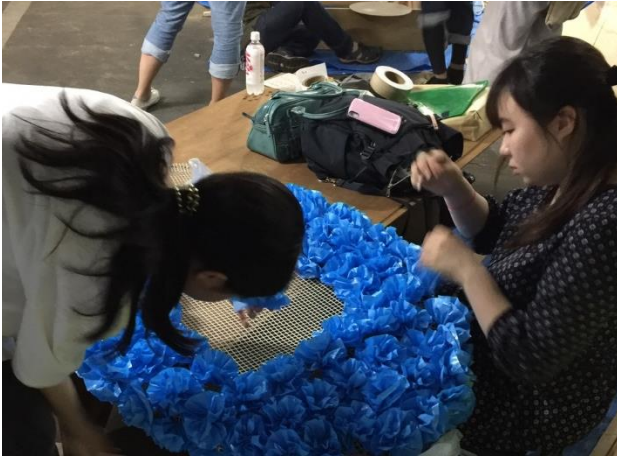
回覧業務は毎月1回、第2土曜日
役員会は必要の都度、招集
Facebook ページはタイムリーに更新

活動場所

自治会館

ナパサクラブ

ナパサクラブ



活動目的

FM 湘南ナパサの電波を通じ、街づくりと防災活動などに取り組んでいます。

活動内容

ラジオ番組制作、七夕飾り、ひらつな祭

活動頻度

毎週 13 番組放送中

活動場所

インターネットラジオで全世界

第1回 年間大賞受賞

探究学習 平塚市立土沢中学校



活動目的

・生徒による視点から、土沢地域を活性化するためのアイデアをもとに、地域の方や土屋・吉沢両公民館などと連携しながら、地域のために様々な活動を実践する。

活動内容

- ・今年度はICTを活用するなど、工夫しながらの実践となっている。
- ・生徒自作の土沢ソングと土沢ダンスに手話を取り入れた動画を作成
- ・リニアとの交流「民芸ソダス」作りや zoom でリニアとリモート交流
- ・キャラクターを使って地域活性化
- ・災害に備えソーラークッカーなどの研究 等々

活動頻度

6月(通常は4月)から11月の中で実施

活動場所

主に土沢地域

地域の希望される高齢者の方々にデイサービスの提供

ひまわりサロン



活動目的

地域の希望される高齢者の方々とを相手に、菓子、昼食等の接待をしたり、おしゃべりや歌、手話、コグニサイズをしたりして、高齢者の方々の精神的なリフレッシュを図る事、家族の負担の軽減することなどを主な目的とする。

活動内容

- ・今年度は、コロナ禍のため、3月～6月は、サロンを休止。7月から再会(開)するが、調理室は、使えないので、午前中 9:30～11:30 に短縮して実施。
- ・7月～8月は、脳と頭のコグニサイズを中心に。9月、3D カラーリングアプリを使って、ぬり絵などを行っています。

活動頻度

月2回、第1、第3(火) 10:00～14:30

活動場所

中原公民館

リトミックによる子どもの発達支援 音楽療法による障がい児・者、高齢者の自立支援

あいあいリトミック



活動目的

‘子どもから高齢者障がい者まで、皆で生の音楽を楽しもう’をモットーに、音楽の専門性を活かし地域交流の場を提供しています。

音楽を楽しむ事で、心身の活性化や機能の回復、ストレスの軽減を目的としています。

‘孤育て’の防止や、地域の繋がり作りに貢献しています。

活動内容

未就園児親子対象の、子育てリトミックサークルを毎月主催しています。子ども向けにはリトミックや、季節の歌、音の出るおもちゃを制作したりと、親子のふれあいを大切にしています。

高齢者向けには、音楽療法を取り入れた歌唱や脳トレで楽しく自立支援に繋がっていきます。

音楽を聴くだけでなく体験、体感できるような、様々なコンサートを開催しています。

活動頻度

毎月5、6回

月、木、金曜日 不定

活動場所

大野公民館

福祉会館

自治会活動をもっと知って、楽しく自治会活動に協力を！

撫子原自治会



活動内容

地域住民の交流を促進し、自治会活動の理解、活動への参加を図っています。

- ・活動を知らせ地域の交流を図る“春まつり”
- ・子育て世代のネットワーク作りの応援
- ・自治会活動に楽しく参加できる“親子ボーリング大会”“年末の子ども主役の地域内パトロール”など実施

活動目的

自治会って何をやっているの？

自治会の活動って面倒だよな！

こんな地域住民の自治会に対する気持ちを

“快適に近所づきあいをするために”

“楽しく自治会活動をするために”を活動目的に地域の交流(絆づくり)を促進し、地域への愛着を育む活動を行っています。

活動頻度

春祭り、ボーリング、年末パトロール等 年1回

パークゴルフ、憩いの場(楽笑会) 毎月2回

公園清掃 毎月1回

活動場所

撫子原緑地、ボーリング場、公民館、地域内、撫子原ポンプ場(市より借用)

海岸清掃

株式会社伊達建設



活動目的

七夕と共に平塚市のランドマークである“ひらつか海岸”は地域住民からは勿論、スキムボードやサーフィンなど様々なマリンスポーツの大会も開かれ広く海外からも親しまれる。

その名所が美しく、かつ子供達が安全に過ごせる場であり続ける為に毎年『湘南海岸環境クリーン作戦』として海岸清掃の活動を行っている。

活動内容

毎年の恒例行事、ホームページで参加者を募り、ひらつか海岸ビーチパークから花水川河口まで概ね2km(片道)に渡り海岸清掃を行う。

休日の協力会社や社員の家族などが参加し、波の音を聞き沢山歩いて、心も体もリフレッシュしながらのビーチクリーンボランティア活動、一石二鳥どころか三鳥、四鳥もあるかも知れない活動となっています。

活動頻度

今年で10年目、概ね年1回開催

活動場所

虹ヶ浜海岸・袖ヶ浜海岸など

千石河岸海岸清掃活動

平塚信用金庫



活動内容

地域環境保全のため、海岸のごみ拾いを行い、きれいな海岸づくりに取り組んでいます。

平成12年に活動開始、全役職員及び家族が参加しています。

2019年は、約200キロのごみを収集。

同日に開催した相模川河川敷清掃(厚木市)と合わせて405名が活動に参加しました。

活動目的

市内外から多くの人を訪れる千石河岸海岸には自然のごみだけでなくタバコのフィルター等のごみが多く落ちています。

地域金融機関として地域資源である平塚の海岸をきれいにすることを目的として活動しています。

活動頻度

年1回

活動場所

千石河岸海岸

田村桜まつり 写真プリントサービス

キヤノン株式会社 平塚事業所



活動目的

企業市民として地域住民とのコミュニケーションにより、相互的関係性と地域課題を解決する協力体制を構築します。

活動内容

弊社ができる地域社会貢献活動を模索し、田村自治会が毎年4月に田村地区で主催する「田村桜まつり」にて、田村桜まつり実行委員会様と連携して、当社製品であるデジタル一眼レフカメラとフォト専用コンパクトプリンターを使用した無料写真プリントサービスを実施させて頂きました。希望者には、その場で撮影し、プリントした写真を無償で提供し、40組以上の方にご利用いただきました。

活動頻度

年1回

活動場所

田村地区(田村桜まつり)

信用金庫の日「愛の献血運動」

平塚信用金庫



活動目的

- ・不足しがちといわれている輸血用血液増加の手助けをしたい。
- ・献血の社会的意義を周知し、献血の大切さを地域の皆様に伝えたい。

活動内容

「愛の献血運動」と名付け、信用金庫の日である6月15日に合わせて神奈川県赤十字血液センターが実施する平塚駅前献血バスでの献血事業に協力しています。

実施前には、当金庫店頭で献血実施日を告知し、多くの方に献血事業の大切さを知っていただくお手伝いをしています。

活動頻度

6月15日前後

活動場所

平塚駅北口駅前

第1回
年間大賞受賞

防災減災啓発活動

女性防災クラブ平塚パワーズ



活動目的

女性の視点に立ち、防災に関する知識や技術の向上を目的に結成された団体で、活動を市内外へと範囲を広げ各種イベントの企画運営を行っています。

活動内容

防災に役立つアイデアを家庭の中から発見し、防災グッズを作り、各種イベントで体験型のワークショップ展開している。例えば一人でもできる応急手当(バンダナやタオルを使用)、災害時の食事やアレルギー対策、離乳食作りができる調理方法、急な雨に役立つ雨合羽(ポリ袋で作成)を紹介。風水害時の警戒レベルに合わせた避難時の服装や避難方法を見える化して展示。

活動頻度

2019年 年間70回

2020年 8回予定

活動場所

県内外の自治会、各種団体、学校等

第1回
年間大賞受賞

(コロナに負けない)子ども自由研究講座・オープントイレ・休憩場所の提供
株式会社アクロス MEルーム



活動目的

出来る限りのコロナ対策をしながら昨年同様

- ・小学生に自由研究の場を提供
- ・疲れた方への休憩場所の提供
- ・事務所のトイレの提供を行った。

活動内容

- ・小学生の自由研究は3Dプリンター出力希望の申し込みがあったのでオンラインで対応。最終確認のみ対面で行い完了できた。
- ・休憩場所の椅子に「お休み処」の掲示をし、横に消毒液を置き自由に使っていただいた。
- ・オープントイレは使用の度に消毒を行い、利用の方にも手指の消毒を呼びかけた。

活動頻度

- ・自由研究はオンライン対応ができる1組に限定し2か月間メールの往復。
- ・休憩場所は常時。トイレは事務所稼働中。

活動場所

アクロス見附町事務所

第1回
年間大賞受賞

湘南スターモール商店街クリーン活動
ピタットハウス平塚店 株式会社L-CLASS



活動目的

湘南スターモール商店街の活性化
きれいな商店街にする

活動内容

店舗のオープン前に全社員でのクリーン活動
商店街をきれいにする事で、少しでもスターモール商店街の活性化につながればと思いクリーン活動をしています。

活動頻度

定休日(火・水)以外毎日

活動場所

湘南スターモール商店街

コロナに負けないまちづくりの応援 株式会社アクロス MEルーム



活動目的

当社も含め特に中小組織はコロナ対応に苦慮。当社は「かながわSDGsサポーター」登録組織として、県からのコロナ対応事例などの情報を得ることができ、それを拡散することができた。

活動内容

- ・コロナ対策注意喚起の大判ポスターを協力印刷会社に提供してもらい、飲食店、食料品店、理容室等ニーズに合わせて提供した。
- ・フェイスシールドを営業品目に加え市内の障がい者自立支援のギャラリー、なでしこ地区小学生の交通安全指導員にコロナ及び猛暑対策用に寄付し、活用してもらった。
- ・消毒液を設置し、セルフで配布した。

活動頻度

不定期、常時

活動場所

見附町、なでしこ地区

人物に焦点をあてた平塚近現代史の掘り起こし 平塚人物史研究会



活動目的

- ・平塚のまちに貢献した明治以降の人物(物故者)の功績を評伝や聞き書きにまとめ、その人の思いや行動、人と人とのつながりを明らかにし、地域史をさらに充実させること。
- ・地域への愛着を深め、ともに助け合ってこれからのまちを築いていくという共通認識、連帯意識を強める一助にしたい。

活動内容

- ・会員各自がまとめた草稿を会で読み合わせて推敲を重ね、冊子にまとめる。
- ・平塚や神奈川県時代の背景を地域の人たちと一緒に学ぶための学習会や講演会を開く。

活動頻度

月1回例会(週・曜日は特に定めていない)
必要に応じて臨時会。

活動場所

例会、臨時会及び原稿の読み合わせは、主に市民活動センターと中央公民館。



活動目的

・平塚市の食品ロス削減を目的として、企業・農家・一般家庭より捨てられてしまうもったいない食品を寄付していただく。また、未来ある子どもたちが健やかに育つように、特に生活が苦しいとされているひとり親家庭や生活に困窮されている家庭などへ、それらの食品を支援することで貧困問題の解決を目指している。

活動内容

- ・毎月一回フードドライブ(食品を集める活動)を行い、一般家庭などからの食品ロスを減らす。
- ・ひとり親家庭や行政などから依頼のある生活に困窮されている家庭に対し、食品の受け渡しや家庭への配達を行っている。
- ・2020年度はコロナの影響で0円ショップが開催が出来ず、10月よりフードパントリーを開催予定。

活動頻度

平日 火・木・金曜日 その他イベント月 1~2回

活動場所

平塚市内全域、食品の受け取りは市外あり

新型コロナに負けない自治会活動 花水台自治会



活動目的

新型コロナ対策を工夫こらし、縮小しがちな自治会活動の継続に努めた。

活動内容

- ・幹部会・月例会の開催継続
従来、計51名で行っていた合同の会議を2回に分け前半を幹部17名、後半を幹部7名+地区長20名の2回に分け3密を防ぎ実施できた。
- ・自治会館利用の継続
- ・自治会員への注意喚起を行い自治会館は1日も休館することなく利用を継続し自治会員の要望に応えた。

活動頻度

幹部会は月1回、会館貸し出しは毎日9~21時

活動場所

花水台自治会館

平塚市を国内外に発信、地域活性プロジェクト

湘南日台未来交流協会



活動目的

訪日旅行者に平塚を知って貰い、平塚を楽しんで欲しいと思いました。訪日旅行者数第3位の台湾や全国に向けて平塚から発信をして地名度を上げて地域活性に結び付けたいと思いました。

また平塚で活動することで市民の皆様台湾を知って身近に思ってもらい両国の市民交流が生まれることを目的としています。

活動内容

- 台湾の国民的飲み物「沙士」を使い、オリジナルカクテルや台湾ハイボールを考案。平塚発信しています。
- 毎年、台湾を訪問し、平塚七夕祭り、よさこい祭りの資料と平塚名産の達磨、地元のベルマーレの物を持参して紹介している。
- 平塚七夕祭りのステージに台湾からパフォーマンスで参加頂き、サポートと七夕案内をしている

活動頻度

随時、月1回の会議、年1回の台湾訪問旅行

活動場所

平塚市

不登校・ひきこもり改善・自立支援プログラムの提供

特定非営利活動法人ぜんしん



活動目的

不登校児童・生徒数及びひきこもり者数の削減などを目的に、不登校・ひきこもりなどを経験した親子が支援者となり、現在、不登校・ひきこもりなどで悩んでいる親子へきっかけを提供し、自立を促しています。また、不登校・ひきこもり当事者に数多く見受けられる「ゲームやパソコン(ネット)依存問題」の解消に向けた支援も行っています。

活動内容

不登校・ひきこもり・ニート状態で悩む親子へ居場所や各種支援プログラムを提供し、彼らの自立を促しています。意見交換・進学・就労相談会&対人スキルアップ、ほかのミニ講座、外出支援ゲーム大会などの開催を通して、不登校・ひきこもりなどに陥っている親子へ回復に向けたきっかけを提供し、段階的な回復と自立を支えています。

活動頻度

- ・毎月第2金曜・10時から16時
- ・毎月第4土曜・10時から17時ほか
- ※個別相談(訪問)支援は予約制で随時、対応

活動場所

- ・ひらつか市民活動センター
- ・平塚市立崇善公民館
- ・平塚市青少年会館ほか

&EARTH 災害に負けない知識を学ぼう

三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚



活動内容

- ・ご家族でご参加いただけるスタンプラリー形式で各ブースで、クイズやワークショップを実施。
- ・平塚市(後援)、平塚市消防本部、地域団体にもご協力いただき、お客様にご参加をいただいております。

活動目的

地域の皆様に、幅広い年代の方が多数来場する商業施設という場所を活かし、「災害への事前対策の重要性」と「災害時に対応する知識」について知っていただくことを目的としています。

活動頻度

年1回

活動場所

三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚

おうちで七夕フェス2020

平塚 100人カイギ



活動目的

コロナ禍となり、開催できなくなった平塚をはじめ全国の七夕まつりを、オンラインで復活したい

活動内容

2020年8月23日に、オンラインにて、七夕を自宅で体験できるイベントを開催しました。平塚100人カイギが主催となり、平塚を中心に活動しているダンサーや農家などをお招きして、七夕にまつわるパフォーマンスを体験したりしました。また、三大七夕まつりと言われている、仙台、安城、平塚の七夕関係者を交えたトークセッションを行い、通常とコロナ禍での七夕まつりの状況と今後について語り合いました。

活動頻度

1回

活動場所

オンライン

平塚市 市民部 協働推進課

〒254-8686

平塚市浅間町9-1 平塚市役所本館7階

TEL 0463-21-9618

FAX 0463-21-9756

E-mail kyodo@city.hiratsuka.kanagawa.jp

平塚市みんなのまちづくり事例表彰



http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00022.html